

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和4年4月19日(火)に実施した全国学力・学習状況調査(6年生)の結果を報告いたします。

〈教科別学習状況調査結果〉

(平均正答率)

	国 語	算 数	理 科
笹野台小学校	65	64	66
神奈川県(公立)	65	64	63
全国(公立)	65.6	63.2	63.3

〈国語〉

「知識・技能」の観点において全国や神奈川県の平均を下回り、「思考力・判断力・表現力」の観点において全国や神奈川県の平均を上回る結果となった。

- 次の点についての正答率が全国や神奈川県の平均を下回っていた。
 - ・ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」(知識及び技能)
 - ・ 「我が国の言語文化に関する事項」(知識及び技能)については平均を大きく下回っていた。
- ◎ 次の点について正答率が全国や神奈川県の平均を上回っていた。
 - ・ 「話すこと・聞くこと」(思考力・判断力・表現力)
 - ・ 「書くこと」(思考力・判断力・表現力)
 - ・ 「読むこと」(思考力・判断力・表現力)

〈算数〉

「知識・技能」の観点において全国や神奈川県の平均を下回り、「思考力・判断力・表現力」の観点において全国や神奈川県の平均を上回る結果となった。また、選択式問題について正答率が高く、記述式問題について正答率が低くなる傾向が見られた。

- 「数と計算」「変化と関係」の2領域において全国や神奈川の平均を下回っていた。中でも、「正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる」項目において大きく平均を下回っていた。
- ◎ 「図形」「データの活用」の2領域において全国や神奈川県の平均を上回っていた。中でも「目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。」項目において特に大きく平均を上回っていた。

〈理科〉

「知識・技能」の観点において神奈川県平均を上回ったものの全国平均を下回った。「思考力・判断力・表現力」の観点においては、全国や神奈川県の平均を上回る結果となった。また、選択式・記述式問題いずれにしても全国や神奈川の正答率を上回った。

- 「生命」を柱とする領域において、全国平均を上回ったものの、神奈川県平均をわずかに下回った。
- ◎ 上記以外の、「エネルギー」を柱とする領域・「粒子」を柱とする領域・「地球」を柱とする領域において、全国や神奈川県の平均を上回った。
- ※ 全教科において知識・技能において平均を下回り、思考力・判断力・表現力において平均を上回っていた。以上の結果を踏まえ、国語科では、言語についての知識・技能を高める指導を、算数科では、数と計算における基礎的な力を、理科では「生命」についての知識・技能をより高める指導をそれぞれ充実させていく。

〈生活習慣・学習習慣の調査から見えてきた傾向〉

質問事項	笹野台小	全国平均
①朝食を毎日食べている。	88.5	84.9
②自分には、よいところがあると思いますか。	57.3	39.9
③毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	43.8	40.7
④家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	34.4	27.5
⑤将来の夢や目標をもっていますか。	66.7	60.4
⑥今住んでいる地域の行事に参加していますか。	47.9	23.4
⑦自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	49	30.4

※ たくさんの項目の中から抜粋して掲載しています。以上の結果を踏まえて、ご家庭で話し合ってください、自分自身の今後のめあてや、努力すべき点を見出すための、一つのきっかけとして活用ください。